



石巻広域クラブ通信 <No.97>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchina2-12-3, Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2024年10月号

E-mail : gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi1839@outlook.jp

== 2024-2025年度 主題 ==

クラブ会長 関川祐一郎 「お互いを知り、支え合いながら、地域を愛し、地域に奉仕しよう！」
北東部部長 大久保知宏(宇都宮) 「戦略 2032 を意識して」
東日本区理事 山田公平(宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン(香港) 「大きなインパクトを起こそう」
国際会長 A・シヤナヴァスカーン(インド) 「より良い世界のために、共に」

<今月の聖句>

「神を愛する者は自分のきょうだいも愛すべきです。これが私たちが神から受けた戒めです」(ヨハネの手紙一 4:21)

<強調月間> EMC (クラブ拡張・会員維持/増強)

2024年10月第一例会プログラム

日時 10月25日(金) 17:00~20:00
場所 YMCA 石巻センター
司会 川上書記

<例会プログラム> 17:00~17:45

1. 開会点鐘 会長 関川祐一郎
2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. あいさつ 会長
5. 諸報告とアピール 担当
- ①仙台YMCA報告 ②2026年東日本区大会ホスト引き受けについて ③11月・12月クリスマス例会について ④ヨガ教室案内 ⑤神戸ポートクラブとのDBC交流会について ⑥その他
6. ニコニコ「能登半島豪雨緊急支援募金」 一同
7. ハッピーバースデー 会長
12日:大林裕子メネット
8. 閉会挨拶と点鐘 副会長 石川光晴

【全国YMCA教育保育担当者会との交流会】

<プログラム> 18:00~20:00

1. 開会のあいさつ 仙台YMCA総主事 加藤雄一
2. 食前感謝 石巻広域クラブ会長 関川祐一郎
3. 交流会 一同

— 終わりに今を見つめる —

「メント・モリ」

石巻広域クラブ会長 関川 祐一郎



10月も後半にさしかかり、巷ではハロウィンが賑わいを見せています。ハロウィンは元々古代ケルトにおける異教のお祭りが起源です。そのため、キリスト教のお祭りではなく、キリスト教会において、ハロウィンをお祝いすることはありません。

ローマ・カトリック教会では11月1日を「諸聖人の日」、11月2日を「死者の日」と定め、それぞれ聖人や死者を覚えて祈りをささげています。わたしが属する日本基督教団(プロテスタント)は11月1日を「聖徒の日」と定め、すでに天に召された信仰の先達を偲び、記念する時としています。私が牧師として仕えている石巻山城町教会でも、11月の第一日曜日には教会で信仰生活を送った先達たちの写真を礼拝堂に飾り、ご遺族をお招きして礼拝をささげています。キリスト教では死者の魂は神さまの御手の中にあると信じています。ですから、キリスト教の葬儀では死者の冥福を祈るということはありません。<次ページにつづく>

■ 9月データ / 10月号内容: 10月例会プログラム・巻頭言(メント・モリ)
9月例会報告、10月拡大役員会、10~12月クラブスケジュール、11月第一例会案内、YMCA報告、オリーブの収穫ボランティア、北東部大会2024報告、能登半島豪雨募金

会長 関川 祐一郎
副会長 石川 光晴
書記 川上 直哉
会計 清水 弘一
直前会長 青木 満里恵
担当主事 半澤 明美
監事 石田 信正

9月例会出席	15名	在籍会員数	17名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	9名	スマイル	11,000円	28,173円
ビジター・メネ	3名	メーカー	1名	ファン	0円	0円
ゲスト・コメ	3名	月間出席率	59%	BF	0円	0円

<前ページより>

キリスト教の葬儀の中心は、故人をその時まで生かしてくださった神さまに感謝をささげ、故人の魂を主の御手に委ね、悲しみの中にあるご遺族の慰めを祈ることにあります。そのため、キリスト教の葬儀は礼拝として行なわれるのです。

死は誰もが避けることの出来ない現実です。この世にあってどのような生き方をしようと、やがて人は等しく死を迎えます

かつて中世の時代、ヨーロッパの修道士たちの間にはラテン語の「メメント・モリ」(汝の死を憶えよ)という言葉が広まり、朝の挨拶の時に、互いにこの言葉を交わし合ったと言われます。中世のヨーロッパではペストの蔓延や医療の未発達により、子どもが10歳まで生きられる確立は今とは比べものにならないほど、低いものでした。そのため多くの人が、死に対する恐れとともに、死後の世界に思いを馳せました。聖書は「生きるにしても、死ぬにしても私たちは主のもの」と告げています。生も死も神さまの御手の中にある。これが聖書の死生観です。

私たちが生きる現代も新型コロナの蔓延、自然災害、戦争と非常に厳しい時代です。そのような私たちに「メメント・モリ」という言葉は、「終わりから今を見つめる」視点を与えます。自らの死を見つめることは、「どうせ死ぬのだから」という消極的で投げやりな生き方ではありません。むしろ、死という人生の終わりから今を見つめることを通して、今なすべき事がより明確になるのではないのでしょうか。そして私たちの生も死も神さまの御手の中にあり、この世の死を超えた世界を神さまが用意してくださっている。そのように考える時、私たちの生がより意味のあるものとなるように思います。厳しい時代だからこそ、やがて来る終わりを見つめつつ、今この瞬間を大切に過ごしてゆきたいものです。



9月第一例会報告

日時 2024年9月27日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

出席者 10月拡大役員会報告(3ページ参照)

<プログラム>

司会: 川上書記

1. 開会点鐘

会長 関川祐一郎

2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. あいさつ 会長
5. 聖句朗読・食前感謝 会長
6. 食事と懇談 一同
7. メンバースピーチ 石井龍子さん、梶原友広さん
テーマ:「自己紹介&私の目指すもの」
ゲストスピーチ 東日本区理事 山下 真 様
テーマ:「東日本区大会 2026 大会へのお願い」
8. 諸報告とアピール 担当
①仙台 YMCA 報告 ②2026 年東日本区大会ホスト引き受けについて ③タイ・チェンマイ国際大会に参加して ④9月北東部大会案内 ⑤ヨガ教室案内 ⑥その他(9月第一例会案内など)
9. ニコニコ 「サポートファンド献金のために」 一同
11,000円
10. ハッピーバースデー 会長
8日: 林昭宏さん、21日: 大林健太郎さん、
29日: 川上直哉さん
11. 閉会挨拶と点鐘 直前会長 青木満里恵

<9月第一例会要旨>

書記 川上直哉

2024年9月27日(金) 午後6時半から9月の例会を行いました。各クラブが「例会(ミーティング)」を行うことで交流し、交流のために奉仕活動をして、YMCA活動の展開を目指す。それが「ワイズメンズクラブ」です。中核になるのは交流です。交流のために、各クラブは世界につながっています。石巻広域クラブの場合、東北から関東にかけて広がる「北東部」につながり、「北東部」は「東日本区」につながって、「東日本区」は「アジア太平洋地域」につながり、そして「ワイズメンズクラブ国際協会」につながっています。ですから、「東日本区」は日本の「西日本区」と並んでワイズメンズクラブの「日本代表」ということになります。

9月27日、次期「東日本区」理事(代表)である山下真さん(十勝クラブ)が石巻を訪ねてくださいました。2026年6月に開催を目指す「東日本区大会」の準備のためでした。「まきあーと」と「遊学館」を見学され、特に「まきあーと」については丁寧な案内を得て、大きな収穫を得られたとのこと。その夕方、私たちの例会に参加してください、その報告をしてくださいました。例会では「メンバースピーチ」として石井さん・梶原さんが、それぞれ新入会の抱負などをお話してくださいました。(↓例会の様子全景)



「若者たちを育てようとするクラブの姿勢がとても魅力的に感じた」「目立つことなく、地味でも着実な地域への奉仕を目指したい」と、それぞれ、お話しくださいました。山下さんがそれをお聞きになり、「ここにクラブの原点がある」と喜び得心されていたことは、本当に素晴らしいことでした。



写真↑ 前列左より関川会長、石井さん、梶原さん
山下東日本区次期理事、加藤総主事

10月拡大役員会報告

1. 日時 2024年10月11日(金) 17:00~18:30
2. 場所 石巻山城町教会
3. 出席者 関川祐一郎、川上直哉、日野峻、清水弘一
半澤明美(Z)

4. 報告事項

(1) 9月第一例会の開催報告

日時 2024年9月27日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA 石巻センター
出席者 青木満里恵、石井龍子・大林健太郎、梶原友広
川上直哉、川上恵、川上灯、清水弘一、関川祐一郎
半澤明美、日野峻(Z) <ビジター>加藤雄一(仙台
広瀬川/仙台 YMCA 総主事)、山下真(十勝/次期理
事) <ゲスト>松川ふみ子、遠藤正枝(歌の会フレ
ンズ)

内容 ①メンバースピーチ
石井龍子さん・梶原友広さん
テーマ:「自己紹介&私の目指すもの」
②ゲストスピーチ 東日本区次期理事 山下真
様(十勝クラブ)
テーマ「東日本区大会 2026 石巻大会へのお願い」

(2) 北東部部大会 2024 開催報告

日時 2024年9月28日(土) 13時~17時
場所 福島市市民活動サポートセンター会議室 B1/B2
出席者 関川会長、清水会計
内容 講話1:「福島でのYMCA 活動への思い」
大島 博幸牧師(福島主のあしあと教会) →
講話2:「不登校児への取り組み」
山田 公平(東日本区理事)
各クラブアピール、懇親会

(3) 雄勝ローズガーデンオーリーブ収穫ボランティア

日時 2024年10月5日(土) 10:00~14:00

場所 雄勝ローズガーデン
内容 第3回北限オーリーブ収穫ボランティア
参加者 石井龍子、川上直哉、川上灯、清水弘一、
郷内宣子(3.11 みんなの文庫の会)

5. 協議事項

議長 関川祐一郎

(1) 10月第一例会の開催について

日時 2024年10月25日(金) 例会 17:00~17:
45 交流会 18:00~20:00

場所 石巻グランドホテル2階

内容 ①十勝じゃがいもファンドの確認②11月東
京たんぼぼクラブ(歌声広場)来訪について
③YMCA 交流会への参加について④その他
諸連絡について

(2) 全国 YMCA 教育保育担当者交流会について

日時 2024年10月25日(金) 18:00~20:00

場所 石巻グランドホテル

参加者 全国 YMCA 職員約 50名 & 当クラブ参加者

会費 3,000円

(3) YMCA チャリティーゴルフ 2024 開催

日時 2024年10月17日(木)

場所 泉国際ゴルフ倶楽部

参加者 88名(予定)

その他 賞品提供要請あり(コーヒーセット2個)

(4) 神戸ポートクラブとの DBC 交流会について

日時 2024年11月10日(日)~11日(月)

場所 有馬温泉&癒しのコース巡り

参加者 川上直哉、川上恵、青木まりえ、櫻井美智
江、Hari Shrestha、清水弘一

(5) 東京たんぼぼクラブ歌声広場開催について

日時 2024年11月22日(金) 13:00~15:00

場所 長寿の郷広渕

参加者 東京たんぼぼクラブ4名、大阪なかのしま
クラブ1名

その他 車の手配:22日(川上さん)23日(関川、
清水)

(6) 11月クラブ例会について

日時 2024年11月22日(金) 18:30~20:30

場所 石巻センター

ゲストスピーカー 佐藤秀明氏(Team 大川未来を
ネットワーク顧問)

テーマ:「おかえりプロジェクト」など

(7) 2026年東日本区大会クラブホスト準備 状況について

開催日 2026年6月5日(金)・6日(土)・7日(日)

場所 メイン:マルホンまきあーとテラス

晚餐会場:石巻グランドホテル

主催 東日本区大会実行委員会・東日本区大会
2026 石巻広域クラブ実行委員会

協議事項 ①ホストクラブ実行委員会の編成

②石巻市長への開会式出席要請について

クラブスケジュール（10～12月）

(8) YMCA ヨガ教室の開催について

日時 ①2024年10月30日(水) 10時～12時
 ②2024年12月03日(火) 10時～12時
 場所 新蛇田集会所

(9) 12月クラブクリスマス例会の日程について

日時 2024年12月20日(金) 18:30～20:30
 場所 石巻山城町教会
 担当 石井龍子、梶原友広

(10) 十勝ジャガイモファンド申込の件

到着日 2024年10月29日(火) 石巻センター
 申し込み締め切り日:10月20日(日) (申し込み先/
 清水会計)

価格 かぼちゃ10kg3,300円、3種詰め合わ 10kg
 3,300円、じゃがいも10kg/2,800円、玉ねぎ
 10kg/2,800円

(11) クラブブリテン10月号発行について

- 発行日 2024年10月23日(水)
- 内容 ①10月号巻頭言(関川会長)
 テーマ:「ハロウィンによせて」②9月第一例会報告(川上)③雄勝ローズファクトリーガーデンボランティア(川上)
 ④YMCA チャリティーゴルフ報告
 ⑤投稿、トピックス、近況報告など

(12) その他

- 今年度年会費納入のお願い
- その他、

6. 閉会あいさつと点鐘

関川会長

プログラム名	月日	場所
10月第一例会	10月25日(金)	石巻グランドホテル
全国YMCA教育保育担当者会議	10月25日～26日(土)	石巻グランドホテル/栄光まきびと園
YMCA ヨガ教室 (p43)	10月30日(水)	新蛇田集会所
11月拡大役員会	11月08日(金)	石巻センター
神戸ポートクラブとのDBC交流会	11月10日(日)～11日(月)	神戸・有馬温泉
東京たんぼぼクラブ歌声広場の開催	11月22日(金)	長寿の郷広瀬
11月第一例会	11月22日(金)	石巻センター
大和クリエイティブYサービスクラブCN	11月24日(日)	大和商工会議所
YMCA ヨガ教室 (P44)	12月3日(火)	新蛇田集会所
仙台YMCAクリスマス	12月06日(金)	旧仙台市民会館
12月クラブクリスマス例会	12月20日(金)	石巻山城町教会
12月拡大役員会&大掃除	12月24日(火)	石巻センター

11月第一例会のご案内

東京たんぼぼYサービスクラブは東日本大震災直後より東京YMCAとともに津波で流された女川町の認知症のホームグループ「長寿の郷」を年2回のペースで訪問し、歌声広場を開催してきました。当初は仮設でのいだが、その後、石巻市広瀬に移転してからも定期的に訪問、2019年には通算23回目となり、支援活動が縁で同年11月には施設代表の小笠原均ワイズが当クラブに入会された。当時の越智会長は体調のすぐれないなかを来石され、入会式に立ち会われました。その後、新型コロナの影響や越智会長のご逝去などもあり、しばらく訪問の機会が途切れておりましたが、このたび、施設側の了解もとられて11月22日に訪問、開催することになり、夜は当クラブ11月例会に出席されることになりました。なお、当日のゲストスピーカーに石巻市震災遺構大川小学校の支援活動を続けておられる「Team 大川未来を拓くネットワーク」のプロデューサー・佐藤秀明さんをお招きしておりますのでご期待ください。(↓写真 2016年9月開催の歌の広場)

記

日時: 2024年11月22日(金) 18:30～20:30
 場所: YMCA石巻センター
 内容: ゲストスピーカー 佐藤 秀明さん
 「Team 大川未来を拓くネットワーク」
 テーマ:「おかえりプロジェクト」など



担当主事 半澤 明美

① 能登半島豪雨緊急支援募金

2024年9月21日、記録的な大雨により能登半島に甚大な被害がありました。YMCA では災害支援活動の開始とボランティアの発見を行う計画を立てています。元旦にあった震災と水害の両方の長期支援が必要となることから、緊急支援募金を実施することとなりました。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

② チャリティーゴルフ大会

10月17日（木）泉国際ゴルフクラブにてチャリティーランが開催されました。秋晴れの中、さとう宗幸さん、高橋佳生さんら約90名の方がプレーを楽しみました。収益金は2025年度のウォーターセイフティーハンドブック贈呈(被災地の小学校、仙台市内小学校新入生)、および全国ユースリーダー研修会参加費用助成などに使用されます。



③ 幼稚園、こども園、願書配布開始

次年度の園児募集に向け10月1日より願書配布が始まりました。

11月1日より願書受付開始です。

2024年10月5日（土）に、「オリーブの収穫」ボランティアに参加しました。

石巻市雄勝町に「雄勝ローズ・ファクトリー・ガーデン」があります。ガーデンを運営している徳水博志・利枝ご夫妻はクリスチャンでもあり、YMCA活動に多くの貢献くださっています。直近では、2024年10月25～26日に石巻グランドホテルで行われる「日本YMCA同盟 教育保育担当者会」の研修に、博志さんがワークショップを担当され、ガーデンの見学を利枝さんが対応くださいます。

徳水さんたちの活動は「復興」の矛盾への向き合い方を私たちに示すものとなっています。東京その他で計画され「押し込まれた」復興計画は、しばしば、「3.11」の被災者を再び切り裂き苦しめるものとなります。雄勝地区も同様でした。そのなかでしかし、やせ我慢をしても地域の仲間と和解し、煮え湯を飲むように不条理を飲み込んで、「雄勝ローズ・ファクトリー・ガーデン」は雄勝地区の復興の中核になっています。

ガーデンの脇に、広大なオリーブ畑があります。これは「北限のオリーブ」をブランドとして復興を目指すという石巻市全体の取り組みの一部で、「雄勝地区、牡鹿地区、北上地区、大川地区の計4地区で約1,600本」のオリーブを栽培し新しい産業を作ろうとする事業です。日々多くのボランティアが訪れるガーデンは、その交流人口を活用して、この事業の推進役を担っています。毎年「収穫祭」を行い、100名以上のボランティアが宮城県内外から参加され、楽しく明るく賑やかに、復興への歩みを進めている。そんな現場に、石井さん・清水さん・郷内さん・川上の4名が、石巻栄光教会の4名と一緒に参加しました。午前中にオリーブの実の採取を行い、お昼に「おにぎり」と「豚汁」を頂いて、素敵な午前・午後の時を過ごしたことでした。（報告：川上直哉）





北 東 部 部 大 会 2024 報 告

9月28日(土)福島市市民活動サポートセンターにおいて、今年度の北東部大会が行われました。「福島の地でのYMCA活動への思い」と題して大島博幸牧師(福島主のあしあとキリスト教会)から、「不登校児への取り組み」と題して山田東日本区理事のお二人より講話がありました。大島牧師からは福島でのワイズメンズクラブとYMCA設立への強い思いが伝わってきました。(→大島牧師写真)

山下次期理事を始め約20名の参加があり、各クラブ会長の報告とアピールが行われ、今年度の各クラブの飛躍を誓い合いました。

当クラブからは、関川会長と清水会計が参加、関川会長からは2026年に行われる区大会ホスト引受けの報告と今後の協力要請を行いました。(報告:清水)



仙台YMCA



YMCAポジティブネット募金

2024年9月能登半島豪雨 緊急支援

2024年9月21日、線状降水帯による記録的な大雨が能登半島に甚大な被害をもたらしました。2024年元日に発生した能登半島地震による復興も道半ば、2024年1月後半から6月末までYMCAが避難所支援を行ってきた輪島市町野町も大きな影響を受けました。水害による被害が発生した直後から、YMCAには震災による避難所支援活動でつながりのできた町野町のみなさんの、助けを必要としている声がたくさん届いています。

こうした現状を踏まえ、YMCAでは輪島市町野町を中心に水害による災害支援活動の開始と、震災による災害支援の継続、ボランティアの派遣を行う計画を立てています。水害による復旧活動では、スタッフのみならずユースボランティアリーダー、学生、関係者を含め、より多くの方の助けが必要になると考えています。YMCAがこれまで取り組んできた災害支援活動の経験やノウハウをもとに、被災された方や支援者の心身の安全を最優先にした支援活動を展開していく予定で準備をしています。震災と水害の両方の長期支援が必要となることが確実であるなか、この度の能登半島豪雨災害による被災地支援のための緊急支援募金を開始いたします。

具体的な支援活動の内容は、9月26日から行う現地視察を経て早急に計画をまとめる予定ですが、災害支援活動を直ちに開始できるよう、緊急支援募金へのご協力をお願いいたします。

◆募金使途 詳細は随時、日本YMCA同盟ウェブサイトでお知らせします

- ・被災地近隣YMCAと協働して行う、2024年9月能登半島豪雨による被害を受けた輪島市町野町を中心した被災地域での支援活動
- ・YMCAが関係する災害支援団体との協働で行う支援活動

◆募金方法

仙台YMCAの窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお振込みください。

郵貯振替：日本YMCA同盟災害支援募金口

口座番号：00130-4-696497

「2024能登豪雨(仙台YMCA)」とご記載ください。

◆日本YMCA同盟サイトからはクレジットカードでの送金もできます。

右のQRコードからWebサイトにお入りください

日本YMCA同盟
Webサイト



このチラシは、折ると
募金封筒としてお使い
いただけます。裏面を
ご覧ください。

募金期間：2024年12月31日まで

(被災地の状況にあわせて募金期間は延長される場合があります)

公益財団法人 仙台YMCA

〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 Tel 022-222-7533 <https://www.sendai-ymca.org/>

